



2015-2016 年度

Lions Clubs International District 336 — B

# 新 会 員 研 修 会

## 資 料 (No.1)



**Dignity.  
Harmony.  
Humanity.**



地区アクティビティ・スローガン

『地域とともに 輝く未来』

地区ガバナー・スローガン

『力を結集し 未来を動かそう！』

地区ガバナー・キーワード

『会員増強』『次世代育成』『奉仕力アップ』

ライオンズクラブ国際協会336-B地区

〔キャビネット事務局〕

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所 6F

TEL(086)232-7722 FAX(086)232-1155

<http://www.lc336b.org>

E-mail:info@lc336b.org

リジョン・レベル  
新会員オリエンテーション  
(資料)

Orientation よりよきライオンズになるための研修会

先ず始めに、ライオンズクラブ国際協会第65代会長L村上 薫のメッセージの一節を紹介致します。

「我々がライオンズクラブと地域社会に奉仕するために、リーダーシップの力を十分に育成し、常に研鑽を積んでいくことが大切である。(中略)一人ひとりのメンバーがリーダーシップを発揮するならば、クラブは更に強力なものとなり、地域社会とその市民に対する奉仕も、より効果的に実施できるようになる。」

このように短い表現の中には、ライオンズの内包する問題点を鋭く見据え、我々の進むべき方向を的確に指し示された言葉であります。

ライオンズスピリット ——奉仕への出発—— より抜粋

オリエンテーションの重要性は・・・

1. 国際協会について
2. クラブの目的
3. 会員になった意義
4. 会員の役割(権利・義務)
5. ライオンズクラブのアクティビティ

より良きライオンズになるためには、これらの基本をよく理解することである。

## 1. 国際協会について

### 国際協会本部所在地

(The International Association of lions clubs)  
300,22<sup>nd</sup> Street, Oak Brook, Illinois 60523-8842 U.S.A  
太平洋アジア課 課長 Yoshiko Merz  
E-mail: Yoshiko Merz@lionsclubs.org

### 歴史年表

- 1917年 ビジネスマンのメルビンジョーンズによって、アメリカのイリノイ州シカゴで協会が設立された。
- 1920年 カナダ・ウィンザー市にアメリカ以外に最初のクラブが結成されてライオンズクラブ国際協会となった。
- 1925年 第9回国際大会(アメリカ・オハイオ州)で、ヘレン・ケラーが「暗闇との闘いで盲人の騎士」になるようにとライオンズに特別講演した。
- 1926年 第10回国際大会(サンフランシスコ)で、ハワイの黒川直也氏の努力で、国際会則改正で「白人に限る」が無くなった。  
同年ホノルルクラブが結成される。
- 1945年 国連の非政府機関組織編成に助力した。
- 1947年 オーストラリア最初のリズムアクラブが結成された。
- 1948年 ヨーロッパ最初のスウェーデンにストックホルムクラブが結成された。
- 1949年 アジア最初のフィリピンにマニラクラブが結成された。
- 1952年 日本初の東京クラブ認証。世界で35番目の国となる。  
スポンサーはフィリピンのマニラクラブ。
- 1981年 第64回国際大会(フェニックス)で村上 薫氏が国際会長就任。  
(1982年11月死去)
- 1987年 第70回国際大会(台北市)国際会則改正で女性の入会を承認。

### 協会名称 (国際協会会則第1条)

協会の正式名称 「ライオンズクラブ国際協会」  
(International Association of Lions Clubs)

#### 名称の由来

動物のライオンが「勇気」、「力」、「活動」、「忠誠」を象徴するところから来ている。

**モットー** (国際会則第4条第5項)

「われわれは奉仕する」である。( We serve )

1954年の国際大会で採用された。

主語が「私」ではなく「われわれ」の複数の皆が力を合わせて、助け合いの精神で人道奉仕を行う。ライオンズの基本的理念です。

**スローガン** (国際会則第4条第4項)

「自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる」である。

(Liberty Intelligence Our Nation's Safety)

1919年の第3回国際大会で採用された。

**公式の色と紋章** (国際会則第4条第1項)

1917年創設されたとき、紫と金色が選ばれた。



(2008年6月 紋章改定)

紫は、国、友人、自分自身に対する忠実さと、理性と心の高潔さを象徴し、力、勇気、大義への献身の色である。

金色は、目的に対する誠意、公平無私な判断、人生の純粋さ、心の寛大さ、人類への献身を象徴する。

紋章は、現在の紋章は、1919年の第3回国際大会で採用された。

右のライオンは過去の歴史、伝統、誇りを象徴している。

左のライオンは未来の限りない発展を展望している。

**ライオンズクラブ国際協会の構成員** (国際協会会則第3条)

ライオンズクラブ国際協会会則に基づいて正式に結成され、

国際本部より認証された、単一のライオンズクラブが構成員である。

- ・ライオンズ国又は領域 210 カ国
  - ・世界のクラブ数 46,510 クラブ
  - ・世界の会員数 1,377,913 名 (男性 1,005,207 名 女性 372,706 名)
  - ・日本のクラブ数 3,126 クラブ
  - ・日本の会員数 121,121 名 (男性 90,987 名 女性 30,134 名)
- (2015 年 6 月 30 日現在)

### 日本レベル地区割り

複合地区 (準地区の複合体)

準地区(地区ともいう、35 以上のクラブ数で 1,250 人以上)

リジョン(R)は、ゾーン(Z)の複合体・・・リジョンチェアパーソン

ゾーンは、クラブの複合体・・・ゾーンチェアパーソン

### 336-B地区区分図

## 2. クラブの目的(国際協会第 2 条)

どんな団体でも何故存在するのかという理由がある。その理由を自ら規定している。これが目的である。

会員になると、ライオンズ必携、会員必携、役員必携、運営マニュアル等に基づき、その目的を達成しなければならない。

この目的は、会員にとってもクラブにとっても、極めて重要であり、ライオンズ必携(P.9)に掲載されている。

- ① 世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる。
- ② よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- ③ 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- ④ 友情、親善、相互理解の絆によってクラブ間の融和をはかる。
- ⑤ 一般に関心のあるすべての問題を自由に討議できる場を設ける。ただし、政党、宗派、の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- ⑥ 奉仕の心を持つ人々が個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するよう励まし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の効率化をはかり、道徳的水準を更に高める。

以上の目的を達成するために、私たち会員は一致協力して具体的行動(アクティビティ)を展開しているからこそ、社会的評価を得ている。

### 3. 会員となった意義について

ライオンズ必携 P.18～19 に、ライオンズクラブは単なる社交クラブでなく、また慈善団体でもない。各ライオンズクラブは国際協会を構成する一単位で、クラブの力を結集して諸般のアクティビティを実行する社会奉仕団体である。会員は、善良な徳性の持ち主で、地域社会において声望のある成人の中から厳選され入会は招聘のみによる。(国際会則第8条第2項)

ライオンズクラブは、社会奉仕への目的意識を共有しており、

**ライオン歴、年齢、職業、学歴、社会的・経済的地位等の条件を超越し、**

**「一人の英雄もなく、一人の非協力者もない」 会員は皆平等**

である事が基本である。

ライオンズクラブの一員になったからには、

**Pride(誇り) を持ち**

**Status(社会的地位) と Quality(資質) の向上に努める**

事業の効率化をはかりつつ、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進しなければならない。

#### メリット

- ① 奉仕活動から得られる多大の充実感、満足感、よろこび
- ② 地域社会の改善
- ③ 全世界の恵まれない人の暮らしを変える
- ④ リーダーシップを磨く
- ⑤ コミュニケーションの技能を磨く
- ⑥ 計画および組織の技能を活用する
- ⑦ 新しい人との交流(国内・外)
- ⑧ グループ、ネットワークする機会
- ⑨ 旅行参加の機会
- ⑩ 自らの研鑽の場となる

### 4. 会員の役割 (権利・義務)

会員はすべて平等の下に、権利、義務を持つ。

#### 権 利

- ① クラブ、地区及び国際協会の役職につく権利と表決を要する投票権を持つ。
- ② クラブ運営に直接参加する。

## 義 務

- ① 例会出席する。
- ② 速やかに会費納入する。
- ③ クラブ活動参加(委員会、奉仕)する。
- ④ 地域社会によい印象を与える行動をする。
- ⑤ ライオンズバッジをつける。
- ⑥ 会員証の所持。

## 準義務

- ① ライオンズ必携の熟読（特にクラブ標準版）
- ② ライオン誌（日本語版）の熟読
- ③ 地区誌の熟読
- ④ クラブ会報誌の熟読

これらの基本をよく理解しておくことが、

- ① ライオンズが好きになり
- ② クラブの中での居心地が良くなり
- ③ クラブ活動(運営・奉仕)積極的に参加するようになり
- ④ 連帯感と相互理解のもと、長期に渉りライオンズ活動に尽力することとなる。

## 5. ライオンズクラブのアクティビティ

### 1. アクティビティとは

- ・ライオンズクラブがその地域社会などに対し行うあらゆる奉仕活動
- ・クラブが単独で行うのが基本
- ・地域社会の情報化進展等に伴い、いくつかのクラブが合同で、或いは他の奉仕団体や地方自治体と合同で行なったり、地区単位で行う場合もある。

### 2. アクティビティの内容

環境問題、世界平和、青少年育成、社会福祉、視力保護等 幅広く展開している。

#### (1) 視力関係アクティビティ

- ・1925年の国際大会におけるヘレン・ケラーのスピーチ  
『暗闇と闘う盲人のための騎士になって下さい』
- ・視覚障害者用の白い杖
- ・献眼登録運動

- ・盲導犬育成事業
- ・CSF（1991年7月～1996年6月）
- ・CSFⅡ（2005年7月～2008年6月）

## (2) 献 血

ライオンズクラブの献血事業は長い歴史をもち、主要なアクティビティとして多くのクラブで実施されてきましたが、構造的な問題を抱えています。

### ①献血者数の減少

昭和60年 870万人      平成19年 494万人(ピーク時の56%)

### ②年代別の輸血状況

0～29歳 6.2%      30～49歳 9.8%      50歳以上 83.3%

### ③年代別の献血状況

16～29歳 29.6%    30～49歳 49.7%    50歳以上 20.7%

50～69歳 横這い    若年層の献血者減少

高校生 H7年 17% → H19年 4%

### ④日本の人口ピラミッドから見て、将来まちがいをなく献血可能人口は減少する。

### ⑤献血構造改革・・・日本赤十字社の目標

- ・若年層の献血推進 10～20代
- ・複数回献血の推進 H19年30% → 35%
- ・集団献血の推進 事業所献血 H16年 24,000社 ～～5年後 48,000社

## (3) 青少年関係

### ①青少年交換事業(YCE)

- ・神戸 LC とアメリカ(カリフォルニア州、ネバダ州・・・MD4)  
夏期青少年交換が行われた。
- ・国際協会がライオニズムの第一目的に沿って青少年交換事業実施を決定した。  
(上記1961年の事業に端を発している)
- ・YCE事業の目的  
ライオンズクラブ国際協会の第一目的である  
「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる」の実現
- ・単なる国際交流ではなく、「親善大使」としての役割を果たす。
- ・YCE事業の魅力

### ②ライオンズクエストプログラム

- ・薬物乱用防止を含む青少年健全育成支援プログラム
- ・思春期のライフスキル教育  
青少年が「自尊心の高い、責任感のある、自分も他人も大切に健康的な人物」



として成長する過程で必要なコミュニケーションスキル、感情のコントロールスキルなどの包括的な「生きる力」を養う。

### ③国際平和ポスターコンテスト

11歳から13歳までの児童を対象に1988～1989年度より実施されている。  
336-B 地区内においても、各クラブが地域に密着した活動、或いはグローバルな活動に精力的に取り組んでいる。

## 3. 日本の歴史的なアクティビティ

(1)スズラン給食

(2)インド救ライ

(3)阪神・淡路大震災

(4)東日本大震災

## 4. LCIF（ライオンズクラブ国際財団）

1968年国際協会によって結成された財団。  
寄贈を受けた基金の運用により、人類の福祉に貢献することを目的とする。

### (1)緊急援助交付金

天災が起こった直後、ライオンズクラブの救援活動の資金援助をするための  
US\$10,000 援助金交付。

### (2)一般援助交付金

地区の人道的奉仕事業の資金援助をするために、US\$5,000～150,000の援助金交付。  
申請額と同額の資金を地元で集めなければならない。1地区が原則として5件迄申請  
できる。

### (3)国際援助交付金

2ヶ国以上のライオンズクラブ間の国際的協力事業の資金援助をするために、  
US\$5,000～30,000の範囲で援助金交付。（医療活動、食糧自給、給水事業など）

### (4)四大交付金(CORE 4)

視力保護、障害者援助、健康促進、青少年奉仕の4つの分野におけるライオンズク  
ラブの奉仕事業を支援する。US\$200,000を上限として事業費の75%迄を支給する。

#### (5)大災害援助交付金

国際的規模の大災害のために US\$50,000～\$100 万が交付される。

(阪神・淡路大震災、スマトラ沖大地震、ハリケーン・カトリーナ、東日本大震災 等)

#### 5. 336-B 地区内のアクティビティ紹介

- ・SON(スペシャルオリンピックス)の支援
- ・発展途上国への診療所や学校、井戸の建設支援
- ・盲導犬育成支援チャリティ公演会の開催
- ・養護施設や老人福祉施設への慰問やイベントの共催
- ・公共施設や公園・道路のクリーン活動、花壇の整備や植樹・下草刈り
- ・少年少女スポーツ大会(剣道・サッカー・野球等)の開催
- ・献血・献眼・臓器バンクへの登録推進活動
- ・小中学生登下校時の安全確保活動や交通安全啓発活動
- ・海外姉妹提携クラブとの青少年交換事業
- ・視覚障害者支援募金活動
- ・薬物乱用防止の出前授業

#### IV. ライオンズクラブライフを意義あるものにしてください。楽しんでください。

##### (1) 役職を受けるのもアクティビティ